

- ▶ 本県では、今後重要となる非住宅分野等の木造化・木質化を進めるために不可欠な木造建築物の設計スキルを持った建築士が不足している。
- ▶ このため、木造設計に関する構造や防耐火等の識者による講習会を開催することで、木造建築物の設計スキルを持った核となる建築士を育成し、県内の非住宅分野等における木造化・木質化の推進を図る。
- ▶ 令和元年度は、木造建築物の設計に関する基礎的な知識を習得する「みやざき木造塾2019」を講義形式で開催したが、令和2年度は、基礎的な講義に加え、中大規模施設（木造ビル・福祉施設）の試設計を追加し、より実践的な内容で「みやざき木造塾2020」を開催した。
- ▶ 令和3年度は、防・耐火や工法計画等の講義に加え、更に実践に近い内容でグループワークによる試設計に取り組んだ。

□ 事業内容

1 みやざき木造塾を魅せる「空間・人」づくり事業（建築士育成事業）

- ・ 木造建築の設計に必要な構造、防耐火、遮音等、その他分野の識者を講師にした「みやざき木造塾」を開催し、建築士の育成を図る。

【事業費】 3,740千円（全額譲与税）

【実績】

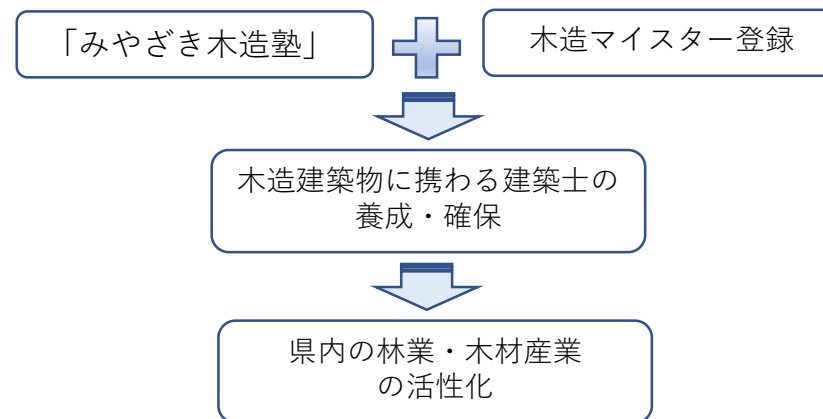
- 第1回 10月19日 講義:木造概論、グループワーク
参加者:14名
- 第2回 11月2日 講義:構造、試設計グループワーク
参加者:14名
- 第3回 12月6日 講義:温熱環境、試設計グループワーク
参加者:13名
- 第4回 1月17日 講義:工法計画、試設計グループワーク
参加者:14名

※木造マイスター登録者: 27名(R4.3月時点)



(みやざき木造塾2021の様子)

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

- ・ 「みやざき木造塾」の修了者で一定の要件を満たすものを「木造マイスター」として登録することで、木造建築物に携わる建築士等の養成及び確保を図る。

◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	173,036千円
②私有林人工林面積（※1）	230,240ha
③人口（※2）	1,069,576人
④林業就業者数（※3）	3,151人

※1：「2,020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より、
※3：「H27年国勢調査」より